

民事執行・民事保全法〔第2版〕

中西 正 = 中島弘雅 = 八田卓也 = 青木 哲

2021年4月発売 / 418頁 / 定価 3190円(税込)
A5判 / 並製



編集
担当者
から

法学部に入って学んでいるけど、「優先弁済を受けることができる」って実際どう弁済されるの？ 判決で「～金員を支払え」とか「～を引き渡せ」と権利が認められたのに、支払や引渡しをしてくれない場合、どうなるの？ そう考えたことはないでしょうか。このような、権利を実現するための不可欠な手続を定めているのが民事執行法や民事保全法です。

本書では、この民事執行法・民事保全法について、基本原理、制度や規定の趣旨、背景にある理論に重点を置いて丁寧に解説がされています。不動産強制競売や動産執行などの解説では、ケースや設例において手続の流れを具体的にイメージしながら学ぶことができます。また本文中には多数のリファラーがあり、手続相互の関係も立体的に掘むことが出来ます。第2版では、令和元年民事執行法改正で変わった制度についても解説を加え、最新の判決も織り込んでいます。

民法や民事訴訟法などの学習で得た知識を総動員して読み込むことで、それらとの相互の理解もさらに深まるはずです。易しくわかる本ではないかもしれませんが、多少でも法曹実務家になることに興味があれば、ぜひチャレンジしてほしい1冊です。(K)

Index

I

民法や民事訴訟法の理解をさらに深めたいと考えている人にもおすすめです。

第1章 序—民事執行、民事保全手続の全体像

第1節 民事執行、民事保全手続の民事手続の中での位置づけ / 第2節 民事執行、民事保全手続に関する法律の沿革 / 第3節 執行手続の種類・態様 / 第4節 強制執行手続の基本構造と理念

第2章 強制執行手続の開始と進行—不動産執行の場合を念頭に置きながら

第1節 執行機関と執行当事者 / 第2節 強制執行の要件 / 第3節 債務名義 / 第4節 執行文の付与 / 第5節 執行の対象 / 第6節 執行の救済 / 第7節 執行手続の停止・取消しと終了

第3章 金銭債権実行手続(金銭執行)

第1節 不動産に対する強制執行(不動産執行) / 第2節 動産に対する強制執行(動産執行) / 第3節 債権およびその他の財産権に対する強制執行(権利執行)

第4章 非金銭債権実行手続(非金銭執行)

第1節 総説 / 第2節 物の引渡・明渡請求権についての強制執行 / 第3節 作為・不作為請求権についての強制執行 / 第4節 子の引渡し強制執行

第5章 担保権実行手続(担保執行)

第1節 担保執行と強制執行 / 第2節 不動産担保権の実行(不動産担保執行) / 第3節 動産競売 / 第4節 債権およびその他の財産権に対する担保権の実行(債権担保執行) / 第5節 物上代位

第6章 民事保全手続

第1節 はじめに / 第2節 保全命令発令手続 / 第3節 不服申立手続 / 第4節 保全執行

※小社ウェブサイトの本書のページもご覧ください。

